

Let's go to the library 図書館へ行こう!



今年は絵本作家の安野光雅さんと、かこさとしさんの生誕100周年の年です。お二人とも3月生まれで、長年絵本作家としてご活躍されました。図書館には、お二人の著作がたくさんありますので読んだことがある方もない方も、ぜひこの機会に手に取ってみてください。

今月の読み聞かせ

おはなしひろば	毎週火曜日	10:30 ~ 11:00
おはなしルーム	竹田幼稚園	3月5日(木) 14:00 ~ 14:30
	南部幼稚園	3月12日(木) 14:00 ~ 14:30
たけのこ文庫のおはなし会	3月14日(土)	15:00 ~ 15:30

開館のご案内

- ◎竹田市立図書館 (TEL&FAX 63-1048)
開館時間 午前10時~午後6時 / 休館日 月曜日・第4金曜日
- ◎荻駅交流館図書室 (TEL&FAX 68-2200)
開館時間 午前10時~午後6時 / 休館日 土・日・祝日等
- ◎久住図書室 (TEL 76-0717 / FAX 76-0724)
- ◎直入図書室 (TEL 75-2211 / FAX 75-2217)
開館時間 午前8時30分~午後5時 / 休館日 土・日・祝日等

新刊のご案内

【一般書】

- ・晴れの日の木馬たち (新潮社) 原田 マハ
- ・本日ノ亡者娑婆ノ縁尽キテ (朝日新聞出版) 津田 美幸
- ・雀ちよつちよ (文藝春秋) 村木 嵐
- ・ごみのはての (河出書房新社) 佐佐木 陸
- ・わたしたちの不完全な人生へ (新潮社)
ヴェロニク・オヴァルデ
- ・平野レミ大百花 (中央公論新社) 平野 レミ
- ・わたしの食器棚 (PHPエディターズ・グループ)
石村 由起子
- ・哲学者たちの〈ほんとう〉の仕事 (晶文社)
ナシム・エル・カブリ
- ・毎日音読366日 (自由国民社) 川島 隆太 監修
- ・本を楽しむ教科書-自由に、気軽に!本と仲良くなれる- (ナツメ社) 大島 梢絵 監修

【児童書】

- ・おにのやくそく (PHP研究所)
やまだ ともこ 文 / モカ子 絵
 - ・日向丘中学校カウンセラー室3-向こう側も卒業式- (アリス館) まはら 三桃 著 / めばち 装画
 - ・フェンシング部の王子さま (さ・え・ら書房) 石川 宏千花
 - ・ひとりぼっちのベア (静山社) ハンナ・ゴールド
 - ・脳がバグるおいしい食べ合わせ図鑑-AIが証明- (金の星社) 鈴木 隆一 監修
 - ・隠れ最強動物図鑑-弱そうに見えて本当は強い影の王者たち- (サンマーク出版) 今泉 忠明 監修
 - ・おともだちえほん (日本図書センター)
高濱 正伸 監修 / 林 ユミ 絵
 - ・さかさま-おとなのいいぐんとこどものいいぐん- (Gakken) TERUKO
 - ・早口ことばがじゃまをする (理論社)
桂 三実 原作 / あおき ひろえ 文・絵
 - ・おっとととと (福音館書店) 柿木原 政広
- ほか230冊ほど入りました。



「弔いのひ」

間宮 改衣 / 新潮社



「お父さんは明日、死ぬかもしれないのや。だから何があったか話してくれんか」娘と心を通わせられないまま病でこの世を去った父。作家としてデビューした反動で鬱になる娘。思い出したのは、こどもの頃のこと。娘は父や家族との苦しい年月を「お金に換える」ことにした。「ここはすべての夜明けまえ」で鮮烈なデビューを飾った大分市出身の新鋭作家による、渾身の私小説です。



「わたしはシュシュやりたいことしか、やっちゃだめ - Closet of My Own -」

黒川 裕子 作 / 北澤 平祐 絵 / 金の星社



小学6年生のシュシュはとんでもなく自由な「フルイコ」。自身の「ゴールデン・ルール」にのっとり、奇抜なファッションと行動で周囲を巻きこんでいく。そんな自由なシュシュとクラスメイトたちが、最後の小学校生活を過ごす中で、各々のファッションを通じ自分のありかたやこだわりを見つけて変わっていく卒業までの物語です。



「廣瀬武夫へのまなざし - 直筆資料に見る「軍神」の実像 -」

笹本 玲央奈 / 成文社



日露戦争で戦死し、「軍神」と呼ばれた海軍中佐・廣瀬武夫。報道・歌曲・文学・顕彰活動などの観点から分析するとともに、廣瀬の漢詩や未公開の手紙をはじめとする直筆資料を読み解くことで、その実像を明らかにしていきます。当時の国民に与えた影響だけでなく、竹田における廣瀬武夫という存在が、戦前・戦後・現代へとどのように語られてきたのかも深く学ぶことができる一冊です。



読み聞かせにおすすめの一冊

「うらがわともだち」

河原 久美子 / BL出版

「きみはだれ? はじめてみるかおだね」あおむしは話しかけても知らんかお。休み時間になると、いつもしずかな「うらがわ」で過ごすのが好きな女の子。ここでは虫たちも自分も好きにのんびり過ごしている。うらがわでのじかんや、ともだちとの出会いをとおして、ひとりの心地良さと、友だちとつながるあたたかさにとっと気づく絵本です。

